

波野診療所だより



VOL27. 平成23年4月21日

東日本大震災の被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。節電や献血など、熊本にいてもできる支援があります。波野支所や診療所の窓口にも義援金箱が設置してあります。

子宮頸がんのワクチン接種について

4月1日から子宮頸がんワクチンの接種に、阿蘇市でも市と国からの助成が出ますので、1回につき2千円の窓口負担で接種できるようになりました。

本年度の接種対象者は、中学3年生(15歳相当)と高校1年生(16歳相当)の女子で、接種回数は3回です。接種を希望される方は、事前にお電話で予約をお願いします。

子宮頸がんワクチン

対象者	中学3年生(15歳相当)～ 高校1年生(16歳相当)の女子
自己負担額	1回につき 2,000円
助成額	1回につき 13,900円
接種回数	3回接種 (1回目を接種の後 1ヶ月後・6ヶ月後の間隔)

※対象者には市から個別に通知されます。
(中学校単位で説明会も計画されているようです)



歯科医から



血液サラサラの薬を服用されている 患者さんとご家族の方へ(お願い)

波野の歯科で抜歯される場合は、血液サラサラの薬を中止しないで行っていきます。

抗生剤を服用してもらって、抜く歯の周りの腫れを引かせてから抜きますが、抜いた後、安静(口も体も)にされていても、翌朝まで血が止まらないことが有るので、何回もガーゼをしっかり咬んでもらう場合が有ります。

その場合、献血をした時と同じくらいのダメージが、抜歯そのもののダメージに加わります。

治療は、血液サラサラの薬を処方している主治医の先生にご相談して慎重に進めます。

ご理解とご協力をお願いします。



【編集(のほほん)後記】

東日本大震災には、熊本からも多くの医療スタッフが災害派遣チームとして現地に入っています。半径4km以内に他の医療機関のない「へき地診療所」としては、その活動を応援するしかありませんが、派遣チームのブログなどを読むことで、その大変さが伝わります。(以下はブログで紹介されていましたリーダーナースの言葉です)

『想像以上に現場は壮絶。甘い考えやボランティア精神の人はここでリタイアしてください。現場ではどんな状況下においても絶対に泣かないこと。私達は同情しに行くんじゃない。看護、医療を提供しに行く。あなたたちが泣きたい気持ちなんかより現地の方々はどうなにか泣きたいか。こんなに裕福な〇〇医療チームの涙なんて現地の人には迷惑や嫌味だからね』



医療トリビア

寝言は病気?

寝言は、睡眠隣伴症(パラソムニア)という睡眠障害の一つに分類されます。眠りの深さに関係する障害で、夢遊病、夜驚(やきょう)症、悪夢、ねぼけなども度が過ぎれば、このパラソムニアになります。

寝言に相槌(あいづち)を打つと、夢から覚めなくなるというのは迷信ですが、本人がかなり疲れるのは事実のようです。寝言で他の女性の名を口走り、奥さんに聞かれて・・・というドラマもありますが、いくら

寝言だとはいっても、本当に重大な秘密は、滅多に口走らないようです。



【発行:編集】 阿蘇市波野診療所 事務長 野尻

TEL 24-2203

FAX 24-2248

